

**サイバーセキュリティ戦略本部 重要インフラ専門調査会**  
**第 17 回会合 議事概要**

**1 日時**

平成 30 年 1 月 17 日（木）14 時 00 分～16 時 00 分

**2 場所**

中央合同庁舎第 4 号館 12 階 共用 1208 特別会議室

**3 出席者（五十音順・敬称略）**

（委員）

|       |   |
|-------|---|
| 阿部 克之 | 電気事業連合会 情報通信部長                                      |
| 有村 浩一 | 一般社団法人 J P C E R T コーディネーションセンター 常務理事               |
| 石川 広己 | 公益社団法人日本医師会 常任理事                                    |
| 伊藤 清隆 | 明治安田生命保険相互会社 情報システム部 システム開発推進室審議役                   |
| 稲垣 隆一 | 稲垣隆一法律事務所 弁護士                                       |
| 梅田 康吉 | 三菱UFJ銀行 システム本部 事務・システムリスク統括室 サイバーセキュリティ推進グループ次長     |
| 大林 厚臣 | 慶應義塾大学 大学院経営管理研究科 教授                                |
| 大平 充洋 | 一般社団法人日本クレジット協会 業務企画部部长                             |
| 荻島 敦  | 日本通運株式会社 IT推進部 専任部長                                 |
| 大高 利夫 | 神奈川県藤沢市 総務部担当部長兼 IT推進課長                             |
| 川合 一匡 | 成田国際空港株式会社 経営企画部門IT推進部次長                            |
| 鈴木 栄一 | 一般社団法人日本損害保険協会 IT推進部長                               |
| 手塚 悟  | 慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科 特任教授                           |
| 中村 和訓 | 東日本旅客鉄道株式会社 技術イノベーション推進本部 システムマネジメント部門部長            |
| 橋本伊知郎 | 野村ホールディングス株式会社 参事 Co-CIO 兼 野村證券株式会社 経営役 業務企画 兼 IT担当 |
| 平田 真一 | 日本電信電話株式会社 技術企画部門 セキュリティ戦略担当部長                      |
| 細川 猛  | 石油化学工業協会 総務部兼業務部 次長                                 |
| 堀内 浩規 | 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 通信制度部長                            |
| 松田 栄之 | NTTデータ先端技術株式会社 セキュリティ事業部 エグゼクティブコンサルタント             |
| 師岡 悟  | 公益社団法人日本水道協会 工務部 規格課長                               |
| 和田 昭弘 | 全日本空輸株式会社 業務プロセス改革室 企画推進部 情報セキュリティ・基盤戦略チームリーダー      |

和田 昌昭 公益財団法人金融情報システムセンター 監査安全部長  
渡辺 研司 名古屋工業大学 大学院工学研究科 社会工学専攻 教授

**(事務局)**

前田 哲 内閣サイバーセキュリティセンター長  
桑原振一郎 内閣審議官  
山内 智生 内閣審議官  
三角 育夫 内閣審議官  
吉川 徹志 内閣参事官  
飯村 亜紀子 内閣参事官  
井田 俊輔 内閣企画官  
千葉 陽一 内閣参事官  
越後 和徳 内閣参事官  
金子 修久 内閣参事官  
結城 則尚 内閣参事官

**(オブザーバー)**

金融庁総合政策局総合政策課  
総務省サイバーセキュリティ統括官室  
総務省自治行政局地域情報政策室  
厚生労働省政策統括官付サイバーセキュリティ担当参事官室  
経済産業省商務情報政策局サイバーセキュリティ課  
国土交通省総合政策局情報政策課情報セキュリティ対策室  
原子力規制庁長官官房総務課情報システム室  
警察庁警備局警備企画課  
外務省大臣官房情報通信課  
防衛省整備計画局情報通信課  
文部科学省大臣官房政策課システム企画室  
内閣官房内閣参事官

**4 議事概要**

**(1) 開会 (挨拶)**

前田センター長から挨拶。  
渡辺会長から挨拶。

**(2) 報告事項**

### ●関係省庁の取組状況

- ・総務省から資料2-2に基づき電気通信事故に関する取り組み等について報告
- ・厚生労働省から、重要インフラ分野における予算概算要求の状況について報告
- ・経済産業省から、資料2-3に基づき策定中のサイバー・フィジカル・セキュリティ対策フレームワークの状況について報告
- ・国土交通省から、交通ISACの創設に向けた検討状況及び空港分野の重要インフラ事業者の追加について報告

### ●サイバーセキュリティ協議会について

事務局からサイバーセキュリティ協議会について報告

### ●東京大会に向けたリスクマネジメントの促進のための取組の実施状況について

事務局から東京大会に向けたリスクマネジメントの促進のための取組の実施状況について報告

## (3) 討議事項

事務局から資料5「重要インフラを取り巻く情勢について」に基づき報告。引き続き、事務局から資料6「情報共有体制の改善（方向性の検討の論点）」に基づき報告。主な議論は次のとおり。

- 有村委員 オリパラCSIRTとCS対処調整センターは別物なのか、同じものなのか。議論として2つに分けて考えなければいけないものなのか。第4のものを作るつもりでいるのか、確認させていただきたい。行動計画、CS対処調整センター、オリパラCSIRT、協議会設立に関連する議論が今後深まるにつれて用語の不統一は好ましくない。
- 越後参事官 オリパラの体制については、「対処調整センター」1つであり、JPCERTとは平素より多様なご意見等をいただきながら、議論させていただいている。今後とも引き続きご相談させていただければ幸い。
- 有村委員 オリピックまで3つの組織について整理をお願いすればいいということで了解した。
- 渡辺会長 オリパラの前後で変わらない全体的な情報共有体制の組織と、アドホック的にやる期間限定の組織なのか、はっきりしないようだがどうか。3つの組織について整理をお願いしたい。
- 結城参事官 課題としては認識している。次回、これら課題が共有されて整理された段階で出していくつもりである。
- 有村委員 資料6のどの部分を重点的に具体化していきたいと考えているのか。例えば長所を伸ばす方向でいきたいのか、短所を長所化して減らしていきたいのか。
- 結城参事官 現在取り組んでいる第4次行動計画に基づく情報共有体制の実情を俯瞰し、長所を伸ばし、改善すべきところは新たな対策を講じることとしたい。

具体的には、NISCからの情報提供に関しては、セキュリティ関係機関等と一層連携を強化し、早い段階で確度の高い注意喚起等の情報提供の充実を行っていく。

また、情報連絡の改善策として、メンバーシップ制の情報共有体制の活用が有効と考えられる。今後設立されるサイバーセキュリティ協議会の活用についても検討としてはどうか。

情報共有にかかるコスト低減については、できるところから対応すべきと考えている。特に「4. 改善に向けた検討の方向性」については、委員方々から意見をいただき、新たなものがあればつけ加えていくこととしたい。

行動計画とオリパラの関係については、課題として残っている。

- 稲垣委員 早く集めるものは責任を問わず集め、責任問題が生じるものについては、きちっとやる、区分をして実施するという方針は、了としたい。

利活用方策は大事であり、コストの問題について、解決がしやすくなるのではないかと思うので、力を入れて考えていただきたい。

重要インフラ事業者の皆様においては、時間軸を考えていただき、役所と協調しながらやるべきことはやる。それによってこうむる不利益は、個社というよりも、全産業とか、オールジャパンで受け入れることだと思う。

共有体制が不確定な現状では始まらないので、始めてみる必要があるのではないか。課題だと言っているよりも、どう乗り越えるかという観点で克服していただきたい。

- 和田委員 経営者を巻き込むためには、情報共有という観点からはインシデントベースではなくて、もう少し視点を上げた経営的な視点での情報共有を図り学べるような情報があれば非常にありがたい。経営者を巻き込むための議論ができる情報ネタをお願いしたい。

- 結城参事官 これは自社のノウハウなので、出せるものと出せないものとの整理が必要ではないか。

- 平田委員 事業者側から出す情報が何で、何に使うのかという点と、どう取り扱われるかという点、責任というところが気になる。目的から定義していただけるといいのではないか。迷うと遅くなるということもあるので、クリアにしていただけると助かる。

- 渡辺会長 情報共有といっても、インシデントでないような、ノウハウとか、課題、あるいは悩みを共有するところがあればよい。今の枠組みで対応できないとすれば、ニーズとして控えておくことも情報共有の1つであると思われるので検討いただきたい。

- 経済産業省 経営サイドからアプローチをかけるのは、経済産業省がやらないといけないところであり、要望されたところは強化していくが、負担の発生を抑えながら、共有できるものを提供していきたい。各省庁が一番得意なところを発揮して貢献していくべきではないか。事例集も年度内には策定して別途紹介させていただきたい。

- 渡辺会長 様々なニーズや思惑もあるようなので、事務局で、どの組織が受けるのか、

どう対応するのかを整理していただきたい。

事務局から資料7「安全基準等策定指針（第5版）の改定」の検討方針に基づき報告。主な議論は次のとおり。

- 平田委員 事業者は災害が発生しづらい箇所を特定することは困難であり、BCPで取り組んでいるように、何か起きたときに対処する方策を検討するほうが、具体的な形に成りやすい。事業者が具体的に取り組めるかという観点を踏まえながら、検討してもらいたい。
- 金子参事官 こういう視点を踏まえて、いろいろな事を考えてほしいというメッセージは入っていてもいいと思うので、次回に向けて相談させてもらいながら取り組ませていただきたい。
- 阿部委員 資料中にデータ管理の状況に関する調査という記述があるが、これは各省庁で所轄の事業者に対して確認しているという認識でよいか。新聞報道もなされているが、全体的なセキュリティ確保のためにも各分野で歩調を合せて取り組んでいただきたい。
- 金子参事官 調査が進行中であり、次回以降、その辺りも含めてまた説明させていただく。
- 阿部委員 重要インフラ事業者は相互にサービスを提供し、使っている立場でもあるので、NISC主導で足並みを揃えていただくようお願いしたい。
- 細川委員 「国際動向を踏まえた望ましいデータ管理」について、化学分野は海外で多くの事業活動を行っているので、国境で切り分けするのは困難である。そもそもサイバーセキュリティに対応することが目的ではなく、事業を継続的に行っていくことが本来の目的であって、目的と手段を履き違えないようにということが大事ではないか。
- 金子参事官 そこも配慮したい。報道もあったので、配付資料の参考資料1として、IT調達に係る国の物品等または役務の調達方針及び調達手続きに関する申し合わせについて本日用意したが、今の時点では重要インフラ分野について、同じようなことをお願いするものではない。
- 渡辺会長 言い残したことは、1月25日まで、事務局までお願いする。

事務局から資料8「2020年オリパラ東京大会に向けた分野横断的演習のあり方について」に基づき報告。

- 渡辺会長 コメントがあれば1月25日まで、事務局までお願いする。

#### (4) その他

事務局から、次回会合について説明。

- 金子参事官 次回の専門調査会は、3月又は4月を予定している。

議事等を含め別途連絡させていただく。

以 上